

ヘルスケアFM研究部会

転換点をむかえる医療施設に対し FMの役割とFM業務のあり方を研究する



森 佐絵 (部会長)

清水建設株式会社
認定ファシリティマネージャー
一級建築士
医療管理学修士(MMA)

●keywords

ヘルスケアFM 病院BCP フリンジサービス
ホスピタリティFM 震災対策訓練

サマリー ヘルスケアFM研究部会の過去の研究の概観と2019年以降の活動を紹介し、これからの活動を展望する。メインテーマはJFMA発足時から一貫して「健康・医療・福祉に関わる施設経営戦略を包括的に扱うヘルスケアFMの導入・普及」としており変わっていないが、医療・福祉に関わる社会環境変化に伴って部会員のニーズ、メンバー構成も変化しており、時々に合わせて研究活動を進めている。

活動内容

1. ヘルスケア・病院FMに関する最新最良事例の研究：ヘルスケアFMの最新事例の調査・研究。部会員による討議、外部有識者との意見交換を通し、内部・外部ともに知見の強化を図る。具体的には
①ヘルスケアFMビジネスの可能性や最新事例の研究 ②BCP、危機管理のための動向や事例の研究・見学
③AI・IoTの時代に医療福祉施設が振り回されないための動向や事例の研究・見学。 ④ホスピタリティの原点に還るFMのあり方の研究

2. ヘルスケアFMのバリューアップのための情報交換：医業経営コンサルタント協会・医療福祉設備協会・医療福祉建築協会、日本看護協会等、関連団体との連携をより強化する。また、病院インハウス部会員の参加拡大により、実感と実体を持ったFMを目指す。活動を通して得られた知見は、内外で共有することで、ヘルスケアFMの現場に還元し、経営活動の一助となることを目指す。

毎月の部会では、Zoomでの参加が一般的になった事により、現場を離れることがなかなか難しいインハウスFMである遠方の部会員も気軽に参加し、情報交換を図れるようになった。また、関連団体との連携により得られた知見は、フォーラムやジャーナル、連携する協会のセミナー、報告書などで広く共有することで、ヘルスケアFMの現場に還元し、病院や福祉施設の経営活動の一助となることを目指している。

成果

- ・JFMA賞を受賞した病院を題材とした勉強会と研究テーマの設定：
岐阜県立下呂温泉病院・聖路加国際病院のFMの実践内容の分析
- ・フリンジサービス勉強会として外部の病院関係者や開発者のセミナー多数開催

メンバー

部会長：森 佐絵 清水建設 副部会長：平沼 昌弘 埼玉石心会病院 顧問：柳澤 忠 JFMA理事：長澤 泰

部会員：上坂 脩 ヘルスケアFM研究所 田口 重裕 三菱地所設計 西村 忠則 市立四日市病院 古川 輝宜 寺岡記念病院
犬塚 登志也 日本空調サービス 岡本 昭彦 セコムトラストシステムズ 長崎 大典 安井建築設計 能勢 恵嗣 イトーキ
田中 一夫 病院システム 和泉 隆 帝京大学 加藤 哲夫 アイネット・システムズ 木下 哲也 想和プランニング 上田 嘉之 清水建設
原山 坦 原山総合研究所 加藤 彰一 エフエムメトリクス 小町 利夫 CGSRE 酒巻 佳江 大林組 川村 真知子 富士通
桑波田 謙 クワハタデザインオフィス 清水 博 再生計画研究所 今西 聡 日建設計CM 松本 真奈美 CBRE
玉那覇 優作 沖縄県 池田 宏城 オカムラ 土井 洋 日本アイ・エス・ケイ 高橋 直樹 東京都保健医療公社

アドバイザー：藤本 義秋 倉敷中央病院 小室 克夫 聖路加国際病院 宇賀神 満 NTT 東日本関東病院
小林 健一 国立保健医療科学院 中山 茂樹 千葉大学 谷口 元 名古屋大学 池内 淳子 摂南大学 岡本 和彦 東洋大学
清谷 哲朗 社会保険診療報酬支払基金 高橋 直樹 東京都保険医療公社

事務局：岡崎 文男 JFMA

1. はじめに

今回の調査研究部会特集号 R5 では、コロナへの対応をきっかけとして各分野のさまざまな課題が浮き彫りになった結果、その課題に対する知見や提言が述べられているページも多いことと思う。ヘルスケア分野でも膨大な量の論文や提言が出され、一歩ずつコロナなど新興感染症への備えと覚悟ができつつある。一方で、現場のレベルではまだ手探り状態であり、初めての緊急事態宣言が出された 2020 年春から 1 年半近く経てもなお混沌としている。当部会員のうち、特に病院の職員はリモートで遠方からも気軽に参加できるようになったが、1 時間の部会の最中でもコロナ対応のため中座する人もおり、落ち着いて議論ができる状態ではまだない。

メディアでは毎日医療従事者が取り上げられる一方で、病院や福祉施設の現場では、いつのまにか世間から取り残されたという感覚を持つ職員もいるようである。例えば、サービス提供企業と病院の間でリモート会議を行う場合、普段から自分専用のパソコンを持たない看護職などは、セッティングにモタついたり画面に数人が映り誰だかわからなかったり、声も聞きづらいなど、企業側のリモートスキルに比べて半年遅れているような会議も見かける。また、外食もたとえば 1 人だとしてもまだ一切禁止の施設も多いようである。

そのような環境の中で、使命感の高い医療職が気持ちよく働くことができ、実際にエンゲージメントを高めていける病院経営に寄与できるような FM 活動は何だろうか。今までの研究テーマの中にヒントがあるように考えたため、見直してみることにした。

2. 今までの研究テーマを遡って確認する

部会研究テーマを過去までさかのぼって見直している中で、10 年ほど前のテーマの中にこれからの繋がる要素があると考えた。当時議論を重ねてまとめたものをいくつか紹介したい。

(1) FMI (Facility Management Institute) の創立時のマインドについて

1979 年にアメリカでファシリティマネジメント研究所 (FMI: Facility Management Institute) が設立された時、メンバーに看護師を辞めてアソシエイトになった方がいたことか

ら、当初から FM は医療も重要視していたと考えられる。

1984 年に柳澤忠初代ヘルスケア FM 研究部会長 (名古屋大学名誉教授) が FMI を訪問した際のメモによると、元看護師のアソシエイトであるアンジェラ・コーディ氏はこう述べている。

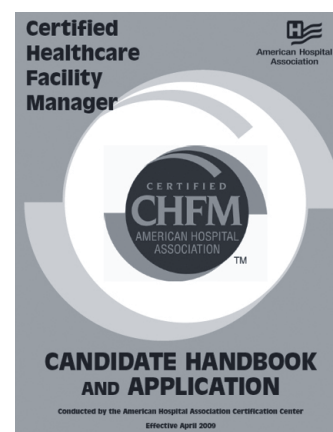
「FM の観点からは、洗濯業務・薬剤・給食・院内感染対策・物品管理・ME 機器管理・環境向上などの包括的な問題を重視しなければならない」

「病院には新しい機器が導入されるが、設置に対して仕事内容や組織再編成が検討されることは少ない。誰も全体像を見ていないことが問題なのである」

施設運営の良し悪しは建築の維持管理に影響するだけでなく、職員の勤務状況に大きな影響を与え、それがサービスの質にも大きな影響を及ぼすのだという、幅広い考え方で FM を論じている。

(2) 「ヘルスケアファシリティマネジャー (CHFM) 米国病院協会」の講習テキストの翻訳

部会の研究では「FMer 資質」というテーマで分科会を設け、2010 年～2012 年に米国病院協会の「ヘルスケアファシリティマネジャー (CHFM)」の講習テキストを翻訳してファシリティマネジャーに必要な資質について分析を行った。



米国病院協会「ヘルスケアファシリティマネジャー (CHFM)」のテキスト 2009 年度版。
最新版は同協会 HP 参照

CHFM の職務の大項目は下記である。

- ① 関連法規の遵守
- ② 建築計画、設計及び建設
- ③ 施設・設備保守運転管理
- ④ 財務管理関係
- ⑤ 業務管理関係他

それぞれの大項目ごとに、細かい遵守事項が記載されているが、一般的な業務内容は省略してマネジメント範囲の広さを表す内容を抜粋する。

① 関連法規の遵守

- 設計、運用、保守及び建設に関する標準または規格の確認（例：米国建築協会、障害者法、環境保護局、職業安全衛生管理、疾病管理センター CDC、暖房・空調協会など）
- 防火訓練の計画と実施。医師、部署責任者及び医局、関連行政機関との調整
- 生命安全管理計画の管理
- 法規等で要求される点検の遂行並びに記録への記入、保存など文書管理されていることの確認（例：発電機の月次点検など）
- 現実的課題及び潜在的問題全てについて安全委員会への通知
- 施設内並びに周辺環境の評価
- 水銀中毒根絶計画の推進及び履行

② 建築計画、設計及び建設

- 土地の評価と取得
- 建設プロジェクトの入札書類作成、設計・建設の統括管理・工程管理
- システム、機器、建設に関する費用予測、仕様並びに図面発注
- 関係者との調整・組織編成（建築家、技師、管轄官庁、委託先）
- 企画設計・実施設計及び予算概算の管理

③ 施設・設備保守運転管理

- エネルギー管理の指標策定・計画・実施・評価
- 省エネルギー提案・査定
- 全ての通信手段及び関連設備の取付及び調整
- 医療機器管理プログラム・予防保全プログラム
- 動線検討・ウェイファインディングに関する問題の調整

④ 財務管理関係

- 契約管理及び経営陣の体系の中で従事すること
- 既存の装置の改良により余剰金回収が可能かどうかの計算 vLCC の分析

- 予算管理と利益監視（建設、資金、医療機器、エネルギー、運転保守、什器）

⑤ 業務管理関係他

- 顧客満足度調査の開発、配布、回収、分析
- 什器備品の調達とその正当性の証明
- プロジェクトや運転の為の人員配置管理
- 品質改善手法を使った品質改善プログラムの効果の確認
- 外部委託業者（食事提供など）と部門間の業務の調整

業務範囲は敷地選定からプロジェクト財務管理、維持管理、食事の提供から満足度調査まで幅広い。ところどころに「調整」というワードが見られるとおり、調整能力が求められていることが重要な点といえる。

3. まとめ

日本の病院の中でも FM の役割を担う人やチームは、実は馴染みの存在である。施設課職員だけでなく総務や時には副院長クラスの幹部が必要に迫られ、守備範囲を超えて院外・院内の調整を行っている。部署と部署、人と人、課題とあるべき姿とのすき間をつないでいく、という役割を担っているスタッフが院内に必ず存在している。

「Hospital」と同じ語源を持つ Hotel や Hospitality のように、「Facility」にも Facilitate【円滑に進める、手助けする】や Facilis【ラテン語で何かを行うための場所】Finesse【熟練している】といった同じ語源を持つ単語があり、それぞれの意味は FM 業務の本質を示唆している。

COVID-19 の流行以降、病院と地域ぐるみでの試行錯誤や、正解のない対策に挑む姿が見られた。図らずも FM 思考のプロセスにのって「現状を正しく把握」し、「調整」を進めていた。

今後の課題として、1年以上定期点検を実施できていないコロナ病棟において、必要な空調性能が低下してきているのでは、という懸念が挙げられている。これに対するアイデアも例えば、地域間で持ち回りで病床を空けて点検するなどの計画も見られることから、2020~2021 年は地域 FM の広がりが出た転換点の年と言えよう。◀

2年間の主な講演と勉強会

	日時・場所	テーマ	講演者
外部講演	2019.11月 HOSPEX JAPAN	【JFMA & 医業経営コンサルタント協会共催】 「次世代ケアの中長期的視点とインフラを考える」	経済産業省ヘルスケア産業課 課長補佐 佐々木 稔氏 シスコシステムズ 若村 友行氏
	2020.11月 HOSPEX JAPAN	【JFMA & 医業経営コンサルタント協会共催】 「海外事例から学ぶ、日本の行政・医療のデジタル化のゆくえ」	ヘルスケア FM研究部会 平沼 昌弘 NEC デジタルガバメント推進本部 シニアエキスパート 松見 隆子氏
	2020.11月 オンライン	【日本医療福祉設備学会】 ホスピタルエンジニア講習「病院FMの基礎」	ヘルスケア FM研究部会 森 佐絵
勉強会	2019.9月 JFMA会議室	【部会セミナー】 「PDF図面から作れるメンテナンス BIM」	野原ホールディングス 井上 淳氏 ステファニー・バイ氏
	2019.10 NTT東日本関東病院	【分科会：フリンジサービス勉強会】 医療分野におけるデータサイエンスの実践	静岡理工大学 水野 信也教授 ヘルスケア FM研究部会 和泉 隆・加藤 哲夫
	2019.10 JFMA会議室	【秋の夜学校】 「病院のファシリティマネジメント入門」	ヘルスケア FM研究部会 森 佐絵
	2019.12月 JFMA会議室	【部会セミナー】 「台風で緊急に見直した埼玉石心会病院のBCP」	ヘルスケア FM研究部会 平沼 昌弘
	2020.7月 オンライン	【分科会：フリンジサービス勉強会】 AIによるレセプト診断	Medical AI Labo CEO 渡辺 徹氏
	2018.11 JFMA会議室	【秋の夜学校】 「病院の育て方とFMの役割」	ヘルスケア FM研究部会 森 佐絵
	2020.12月 オンライン	【部会セミナー】 給食システムのり・エンジニアリング 人手不足への対応	一社）ヘルスケアフードサービスシステム協会 代表理事 窪田 伸氏 (株)ミールシステム 代表取締役副社長 牧内 早苗氏
	2021.3月 オンライン	【分科会：フリンジサービス勉強会】 アフターコロナの時代の病院の方向性	社会医療法人財団慈泉会相澤病院 理事長 相澤 孝夫氏
2021.5月 オンライン	【分科会：フリンジサービス勉強会】 アフターコロナでの看護業務の進化	東京医療保健大学 看護学部教授 中島 美津子氏 ヘルスケア FM研究部会 和泉 隆・加藤 哲夫	